

新年のごあいさつ

「住んで良かったと 思えるまち茂原」へ

茂原市長 田中豊彦



▲造成工事が完了した「茂原にいほる工業団地」

あげましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃より、市政各般にわたり深いご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、史上最年少でプロ棋士となり、最多連勝記録を更新した藤井聡太四段や陸上男子1000mで日本人初の10秒を切った桐生祥秀選手など、若い世代の活躍が目立ち、次代を担う若者に期待が集まった年でありました。

本市におきましては、10月に宝くじスポーツフェア「ドリーム・ベースボール」を開催し、雨天ではありませんでしたが、約2千人の来場者でにぎ

わいました。「少年少女ふれあい野球教室」では、往年の名選手である張本勲さんや桑田真澄さん等による実践的でわかりやすい技術指導で、プロ野球選手を夢見る小中学生に夢と希望と感動を与えてくれました。この経験が参加者の輝かしい将来にプラスの力となることを願っております。

また、昨年は「すべての市民が住んで良かったと思えるまち茂原」を実現するため「茂原市総合計画後期基本計画」を具現化する「茂原市第6次3か年実施計画」がスタートいたしました。特に、「雇用創出」、「子育て支援」、「公共施設マネジメント」、「安心・安全なまちづくり」等を重点施策とし、各種事業に取り組んだところです。

雇用創出

まず、千葉県との共同事業として、平成25年度に開始された、「茂原にいほる工業団地」の整備については、各方面の皆様のご理解、ご協力により昨年中に造成工事が完了いたしました。

子育て支援

子育て支援については、子ども医療費助成事業で、所得制限を撤廃し、助成対象者の範囲を拡大したことで、若い世代が安心して子育てのできるよう経済的な負担軽減に努めたところです。

今月からは、妊娠・出産を経て、子育て期に至るまでの切れ目のない支援の強化を図るため、産前産後サポートセンターにおける支援の対象を、おおむね就学前の乳幼児とその保護者へ拡大いたします。さらには、新たに相談室等を整備し、ワンストップで